

日本データマネジメント・コンソーシアム (Japan Data Management Consortium)

JDMC研究会『マーケティングシステム活用研究会』人材育成プログラム作成編
データ活用人材の育成プログラムを策定、
50項目以上からなる構成要素を解説する



日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]

■ マーケティングシステム活用研究会とは

マーケティングシステムをより活用するため、企業に必要な活用目的や運用組織／人材について研究、実践する研究会。

■ これまでの活動

第1期：研究会参加企業におけるマーケティングシステム活用の課題を抽出、知識として共有。

第2期：MA実機を用いてPoCをおこない、システムを活用するための課題と解決策を検討。

第3期：青山学院大学大学院のカリキュラムの作成と授業。データ活用人材の育成について掘り下げ。

第4期：データ活用人材の育成プログラムの作成。特に「データ活用ができる人材のスキルとは？大項目」の洗い出し。

経営課題／ミッション



課題抽出／課題設定



妥当な手段の選択



実践



検証と仮説立案



課題の修正

【必要要件】

・ ミッションの理解

咀嚼して分解し、
自分たちのミッション
に落とし込むスキル

・ 目的と課題解決方法の整理

・ 一気通貫・全体最適の感覚

・ IT活用理解

できることと、できない
ことの即座の判断力など

・ 社内リソースの理解

・ コミュニケーションスキル

関係者を巻き込み、
説得して動かすスキル

・ 行動力

・ データ分析の理解

・ 因果関係の整理と再現性の気づき

・ 責任感、マインド

それらをベースと
とした想像力

「データ活用人材の育成プログラム」の作成

2019年度（第3期）、青山学院大学 大学院生向けに実施したカリキュラムをベースにプログラム化する活動を継続中。

■ テーマ設定の背景・狙い

マーケティングシステム研究会の立ち上げから3期間の活動を通して、企業がマーケティングシステムを活用するためには、

- ・システムを活用できる人材
- ・システムの活用を適材適所で提案できる人材

の存在が不可欠だと痛感。

その人材像を「データ活用人材」と名付けた上で、企業、社会人に向けた人材育成プログラムの作成を試みることで、「データ活用人材のあるべき姿や、育成における課題を明らかにするための活動。

■活動内容

2021/6～2020/7

- ・研究会内容の理解と担当チームの設定。

2021/8～2021/10

- ・「データ活用人材の要件」の掘り下げ

2021/11～2021/12

- ・各チーム内での役割分担と要件項目の整理、解説。

2022/1～2022/2

- ・成果物の作成「データ活用人材育成プログラムの要件項目」

■ データ活用人材育成プログラムの要件項目

新項番	新大項目	中項目（～のスキルへの置き換え後）	項目の解説（80文字～150文字）
1	【A-1】 ミッションの理解	経営課題をブレイクダウンするスキル	経営視点から課題を見出し、データ分析アプローチで解決すべきものを特定するスキルが必要。経営視点とは、中期経営計画のような長期的な成果目標や会計的な数値目標に加えて、新規事業の創出、社会的価値の向上など非常に幅広い領域を持つ。実務面からの課題解決においては、それらを的確にブレイクダウンする必要がある。
2	【A-1】 ミッションの理解	市場分析のスキル	3C、PEST分析、ファイブフォースなどの市場分析のフレームワークを使いこなすスキルであり、マトリックス分析、シナリオプランニングなど手法は多岐にわたる。重要なことは取り組む課題や該当するプロジェクトに適した手法の選択であり、自社や競合だけでなく、社会動向にも目を向けた俯瞰的な分析も求められる。
3	【A-1】 ミッションの理解	売上や営業成績から課題を抽出するスキル	売上など数値的な指標から、企業の経営課題を特定し、整理するスキル。そのためには、企業の理念、現在の事業構造、進行している各種案件やプロジェクトの概要や収益構造もおおよそ把握する必要がある。
4	【A-1】 ミッションの理解	ミッションを咀嚼して分解して理解するスキル	成功に向けて一体感のある活動をするために、社内外のプロジェクト関係者を同じ方向に意識付けするための、コンセプトやビジョンが必要がある。外部環境や経営理念などマクロ視点と、誰のための、どのような課題を解決するためのプロジェクトなのかというミクロな視点の両面からミッションを言語化することが重要である。
5	【A-2】 目的と課題解決方法の整理	課題に対して仮説設定するスキル	ビジネス観点で、解くべき課題（イシュー）と論点、検証項目を特定・整理し、それらを言語化して関係者で共有することが求められる。その上で、課題に対してデータ分析として解くべき課題なのかや、必要なデータにあたりをつけながら、仮説を立てることが求められる。
6	【A-2】 目的と課題解決方法の整理	課題・仮説を言語化するスキル	課題や仮説を既知の事象等に照らし合せ、適切に言語化し表現するスキルが必要。言語化することで、関係者で共通認識を形成できる。言語化の例としては、課題をブレイクダウンすることや、経験的・暗黙的に行動したり、判断している営業活動について指標や閾値を設定するなどが挙げられる。
7	【A-2】 目的と課題解決方法の整理	課題の本質を洞察するスキル（トップダウン）	課題解決のために立案した計画は、あらためて目的に照らし合わせて見直し、コンセプトにズレがないか確認する。その際には、あえて視点を変えるなどの工夫が必要。そのための手法の一つがトップダウンの視点である。ビジョンやコンセプトに立ち返り、差別化できるのか、長期利益につながるのかなどを検証する。

【A-3】一気通貫・全体最適の感覚

・全体像を把握して俯瞰的に物事を把握するスキル

課題を見つけるとすぐに解決策を考えたくなりがちだが、**意識的に俯瞰的な視点を持って状況把握**し、その課題の重要度や緊急度を冷静に判断することが重要。そのためには、自分一人で考えず、**対話する相手を用意して行うことも有効**。プロジェクトでは、あらかじめ相談相手を設定しておくといった工夫も有効である。

・目標から逆算してマイルストーンを設定するスキル

課題に直面したら、**常に問題の本質を掘り下げて**から、その解決を目指すべきである。業務の見直しなど、解決後の状態が誰にもはっきりとは定義できないケースでは「バックキャストイング」などと呼ばれる、**まず最初にあるべき姿・状態を定義**し、そこに向かってやるべきことを整理する手法を活用する。

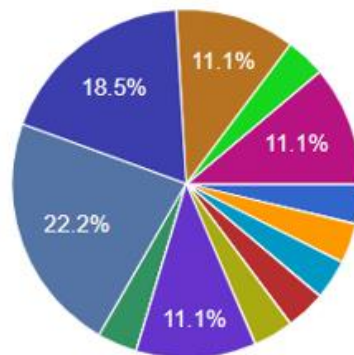
■ 概要

- ・ マーケティングシステム活用研究会_意識調査 & 事例紹介
- ・ 2021年11下旬にリーダーとサブリーダーでセミナーを収録。
(JDMC麹町スタジオ)。12月上旬に配信。
- ・ 配信に合わせてデータ活用人材に関する意識調査アンケートをJDMC会員に依頼。
- ・ 回答数27件。

データ活用人材に関する意識調査アンケート

業種(貴社の業種を回答ください)

27 件の回答

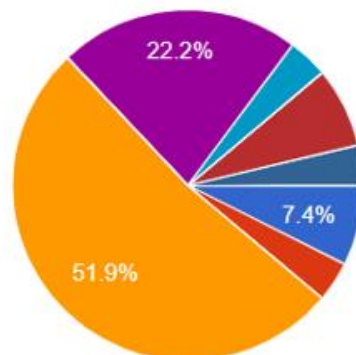


- 製造業(電機・電子機器)
- 製造業(機械・自動車)
- 製造業(化学・薬品・食品)
- 製造業(農林・水産・鉱業)
- 選択肢 5製造業(その他の製造業)
- 建設業・不動産業
- 商社・販社・卸など流通
- 百貨店・専門店・GMS・コンビニなど小売

▲ 1/4 ▼

あなたの業務分野を教えてください

27 件の回答



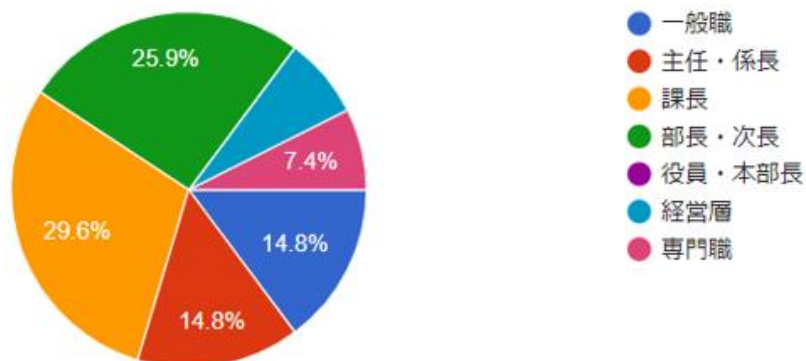
- 経営者・役員
- 経営管理・会計業務
- 企画・マーケティング業務
- 人事・人材開発業務
- 営業・営業支援業務
- 顧客接点業務(顧客窓口・保守・オペ...)
- 在庫・物流業務
- 設計・製造管理業務

▲ 1/2 ▼

データ活用人材に関する意識調査アンケート

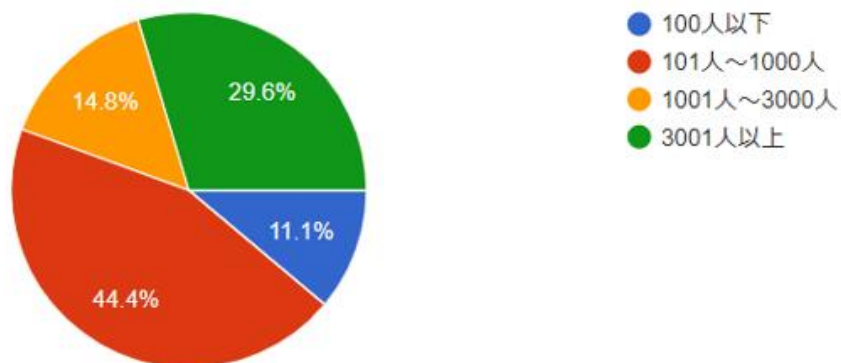
あなたの役職を教えてください

27 件の回答



貴社の従業員数を教えてください

27 件の回答

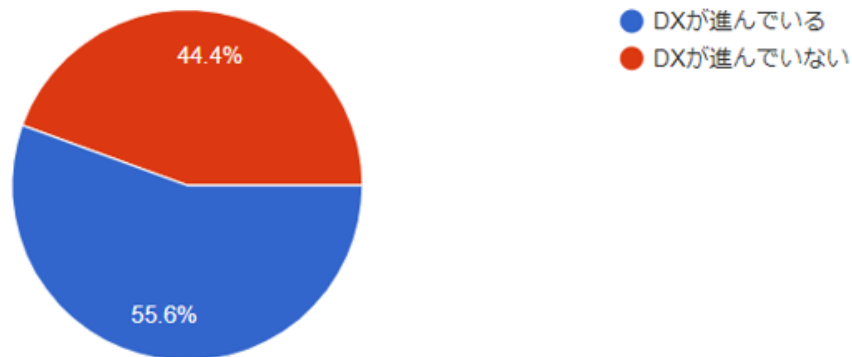


データ活用人材に関する意識調査アンケート



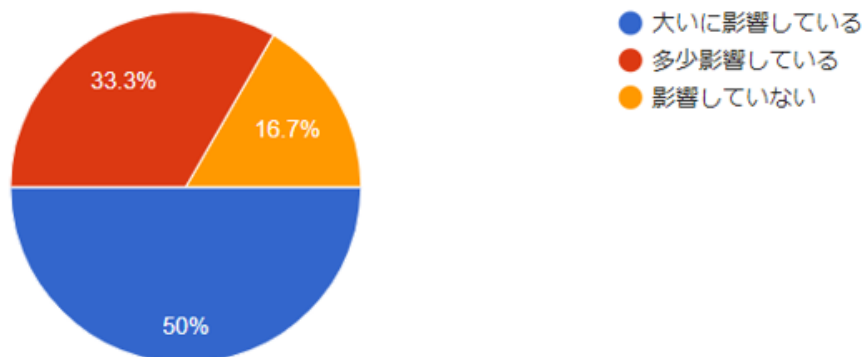
貴社ではDXが進んでいると思いますか？

27 件の回答



DXが進んでいないと答えた方にお聞きします。貴社でのDXの推進・低迷には、データ活用人材の存在・不在が影響していますか？

18 件の回答

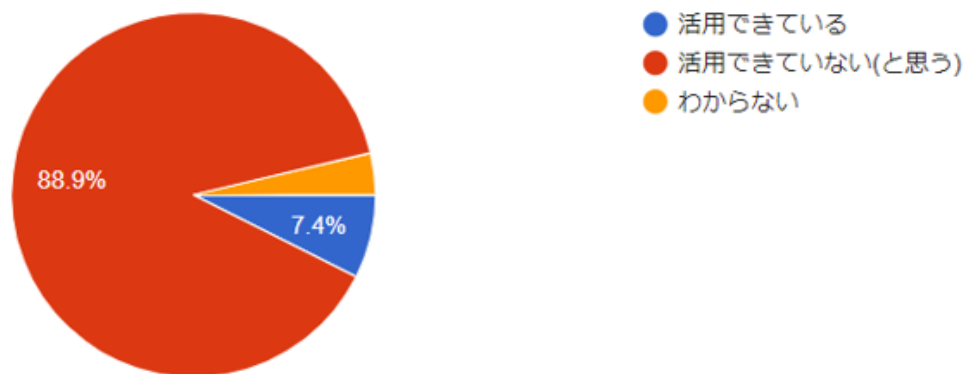


データ活用人材に関する意識調査アンケート



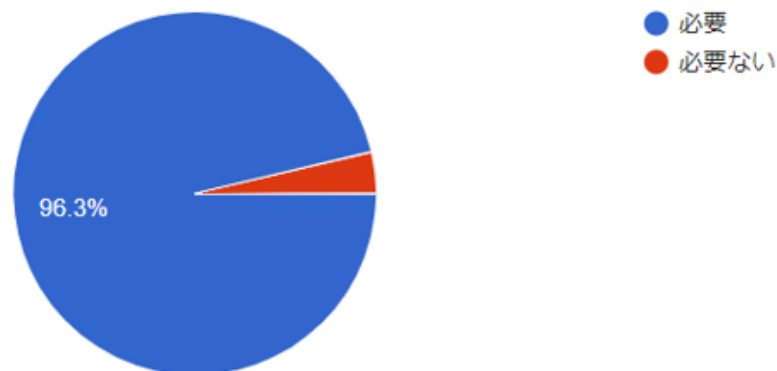
貴社ではデータを活用しきれっていますか？

27 件の回答



あなたの現在行っている業務に、「データ活用人材」は必要でしょうか？

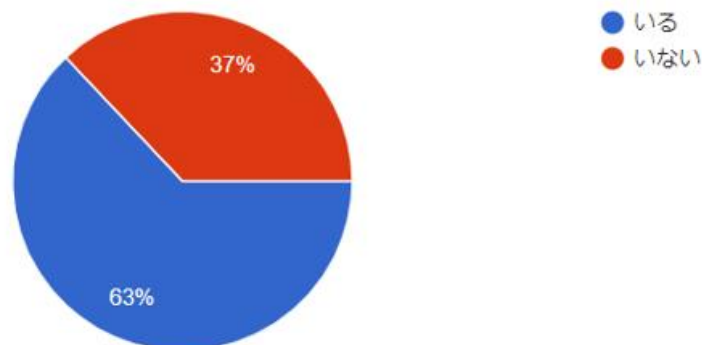
27 件の回答



データ活用人材に関する意識調査アンケート

「データ活用人材」という言葉に相当する人材は貴社にいますか？

27 件の回答



「いる」と答えた方にお聞きます。貴社では主にどのような部門の方が、データ活用人材として活躍していますか？

17 件の回答

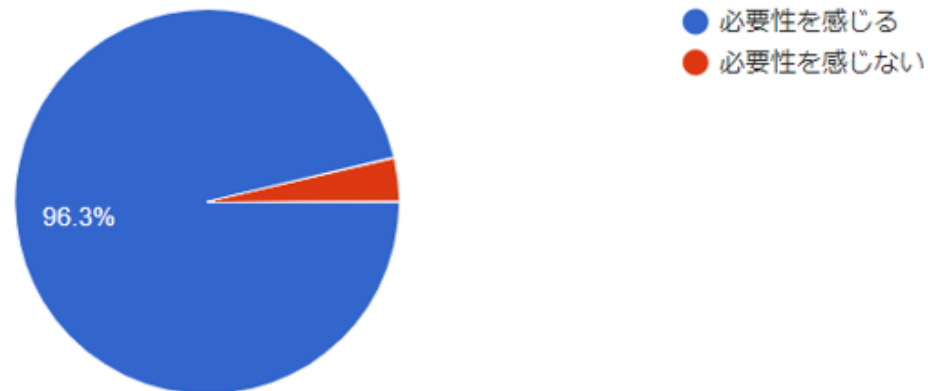


データ活用人材に関する意識調査アンケート



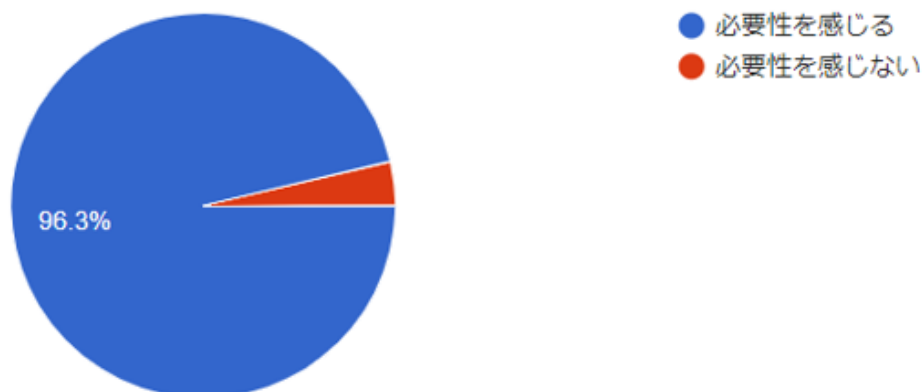
データ活用人材の必要性を感じますか？

27 件の回答



データ活用人材の必要性を感じますか？

27 件の回答



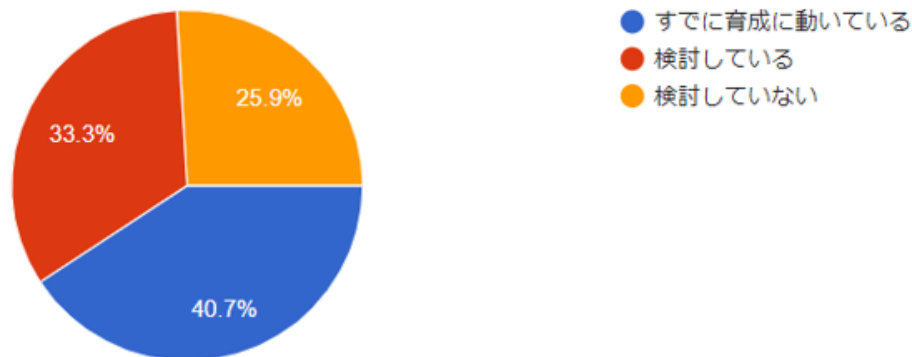
データ活用人材のようなスキルはすべての人が持っているべきだから。

データ活用人材に関する意識調査アンケート



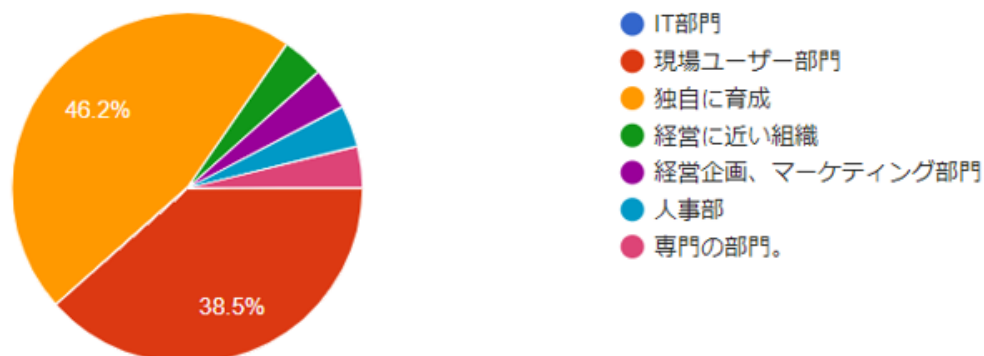
データ活用人材の育成について検討はされていますか？

27 件の回答



データ活用人材の育成は誰が担うべきだとお考えですか？※検討していないを選択された方は、検討するとしたらという観点でご回答ください。

26 件の回答



JDMCマーケティングシステム活用研究会

次期も継続開催予定。ぜひご参加ください。



日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]